



## 平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート 上場取引所 東  
 コード番号 9419 URL <http://www.wirelessgate.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田 武弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼CAO (氏名) 原田 実 TEL 03-6433-2045  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	8,612	△3.1	272	△61.2	152	△73.9	78	△76.8
29年12月期第3四半期	8,890	△3.6	700	△29.0	581	△31.2	337	△35.8

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 40百万円 (△87.0%) 29年12月期第3四半期 313百万円 (△39.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	7.46	7.10
29年12月期第3四半期	32.53	30.61

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	5,707	3,135	53.1
29年12月期	6,197	3,337	52.0

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 3,028百万円 29年12月期 3,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	ー	0.00	ー	28.00	28.00
30年12月期	ー	0.00	ー		
30年12月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,627	△1.7	217	△76.5	74	△90.5	19	△95.7	1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	10,622,000株	29年12月期	10,556,800株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	90,826株	29年12月期	95,138株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	10,505,190株	29年12月期3Q	10,365,483株

(注) 平成30年12月期第3四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、役員向け株式交付信託の信託財産として保有する当社株式37,826株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7
3. 参考資料 .....	巻末

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年1月1日~2018年9月30日)

売上高	8,612,875千円	前年同期比 278,000千円減(3.1%減)
営業利益	272,173千円	前年同期比 428,581千円減(61.2%減)
経常利益	152,107千円	前年同期比 429,879千円減(73.9%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,323千円	前年同期比 258,885千円減(76.8%減)

売上高については、前年同期比278,000千円減(3.1%減)の8,612,875千円となりました。

ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)については、引き続き機器販売が減少したこと等により前年同期比33,062千円減(12.6%減)の228,561千円となりました。子会社LTE-Xについては、大手販売パートナーとの共同ソリューションの販売開始など、案件獲得に向けた営業活動を強化しております。

ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)については、競争環境が激しさを増しており、前年同期比250,325千円減(2.9%減)の8,354,723千円となりました。

利益面については、前年同期に比べ販売費用が増加しておりますが、業績予想に対しての進捗としては想定通りに推移しており、営業利益は前年同期比428,581千円減(61.2%減)の272,173千円となりました。

また、前期と同様に持分法適用会社ののれん償却を行っており、営業外費用として持分法による投資損失116,164千円を計上しております。この影響等により、経常利益は前年同期比429,879千円減(73.9%減)の152,107千円となりました。

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであります。売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

## ① ワイヤレス・ブロードバンド事業

競争環境が激しさを増しており、当第3四半期連結累計期間におけるワイヤレス・ブロードバンド事業の売上高は8,354,723千円(前年同期比2.9%減)となりました。

## イ. モバイルインターネットサービス

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットサービスの売上高は7,891,420千円(前年同期比2.3%減)となりました。

「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」については、ヨドバシカメラとの販売業務委託契約につき条件を見直したこと、ヨドバシカメラ以外の販路での新規会員獲得に注力したこと、既存顧客の退会防止に向けた追加施策を実施したことにより、当第3四半期連結会計期間の売上は、第2四半期連結会計期間の売上とほぼ同程度で推移いたしました。

「ワイヤレスゲートSIM」については、月額利用料収入が減少する中、インバウンド向けのプリペイドSIMの販売強化により売上の拡大を図ることを企図いたしました。当第3四半期連結会計期間の売上は、第2四半期連結会計期間の売上を下回って推移いたしました。

第4四半期以降、引き続きヨドバシカメラにおいて更なる新規会員獲得を図るとともに、ヨドバシカメラ以外の販路での新規会員獲得に向けた取り組みや既存顧客の退会防止に向けた施策を実施することで、売上の拡大を図ってまいります。

## ロ. 公衆無線LANサービス

家電量販店における新規会員の獲得が鈍化していること等から、当第3四半期連結累計期間における公衆無線LANサービスの売上高は395,189千円(前年同期比11.7%減)となりました。

第4四半期以降、法人向けのバルク販売により売上の拡大を図ってまいります。

## ハ. オプションサービス

家電量販店等において取り扱いを行っている「電話リポートサービス」、「スマート留守電」等の販売になります。当第3四半期連結累計期間におけるオプションサービスの売上高は68,113千円(前年同期比10.7%減)となりました。

第4四半期以降、新たなサービスの早期投入に努めてまいります。

② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業

当第3四半期連結累計期間におけるワイヤレス・ビジネスドメイン事業の売上高は、引き続き機器販売が減少したこと等により228,561千円(前年同期比12.6%減)となりました。子会社L T E - Xについては、大手販売パートナーとの共同ソリューションの販売開始など、案件獲得に向けた営業活動を強化しております。

イ. 認証プラットフォームサービス

他の通信事業者へ認証プラットフォームを提供しております。当第3四半期連結累計期間における認証プラットフォームサービスの売上高は43,201千円(前年同期比26.8%減)となりました。

前期は第1四半期連結会計期間において大型案件の売上を計上していましたが、今期は小型案件のみの売上計上となっております。

ロ. その他法人向けサービス

「Wi-Fiインフラ事業」、「IoTサービス」、「法人向けSIMサービス」及び「セキュリティサービス」の提供となります。段階的に拠点数や顧客数を拡大させているものの、前期と比べ機器販売が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間におけるその他法人向けサービスの売上高は185,359千円(前年同期比8.5%減)となりました。

③ その他

小型の紛失防止IoTデバイス「MAMORIO」の販売等になります。当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は29,590千円(前年同期比22.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ489,545千円減少し5,707,533千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,087,546千円減少し2,084,909千円となりました。これは主に、その他流動資産が331,520千円、未収還付法人税等が13,660千円増加した一方で、現金及び預金が1,295,230千円、売掛金が104,576千円、商品が17,292千円、及び仕掛品が15,597千円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ598,000千円増加し3,622,624千円となりました。これは主に、のれんの償却に伴い関係会社株式が116,164千円減少した一方で、長期前払費用が608,203千円、及び投資有価証券が100,028千円増加したためであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ287,679千円減少し2,572,225千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ107,771千円減少し2,020,725千円となりました。これは未払法人税等が133,558千円、及び買掛金が41,801千円が減少した一方で、その他流動資産が67,587千円増加したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ179,907千円減少し551,499千円となりました。これは主に、長期借入金が180,000千円減少したためであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ201,865千円減少し3,135,308千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益78,323千円の計上があった一方で、配当294,106千円の支払により利益剰余金が215,782千円減少したこと、業績連動型株式報酬の支給に伴う自己株式の処分10,208千円が発生したこと、及び新株予約権の行使により資本金が5,965千円、資本準備金が5,965千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(連結業績予想)

	平成29年12月期 (実績)	平成30年12月期 (予想)	対前期増減率
売上高	11,830百万円	11,627百万円	△1.7%
営業利益	922百万円	217百万円	△76.5%
経常利益	782百万円	74百万円	△90.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	461百万円	19百万円	△95.7%

(配当予想)

	平成29年12月期 (実績)	平成30年12月期 (予想)
期末	28円00銭	1円00銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,693,614	398,384
売掛金	1,123,858	1,019,281
商品	220,535	203,243
仕掛品	15,676	79
未収還付法人税等	-	13,660
その他	127,218	458,738
貸倒引当金	△8,447	△8,478
流動資産合計	3,172,455	2,084,909
固定資産		
有形固定資産	319,197	279,630
無形固定資産	122,577	166,549
投資その他の資産		
投資有価証券	766,955	866,984
関係会社株式	1,417,240	1,301,075
長期前払費用	162,891	771,095
その他	235,759	237,289
投資その他の資産合計	2,582,847	3,176,444
固定資産合計	3,024,623	3,622,624
資産合計	6,197,079	5,707,533
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,464,664	1,422,862
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	135,264	1,705
その他	288,569	356,157
流動負債合計	2,128,497	2,020,725
固定負債		
長期借入金	720,000	540,000
資産除去債務	11,407	11,499
固定負債合計	731,407	551,499
負債合計	2,859,905	2,572,225
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	884,146	890,112
資本剰余金	823,367	829,332
利益剰余金	1,745,969	1,530,186
自己株式	△228,975	△218,766
株主資本合計	3,224,507	3,030,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,734	△2,470
その他の包括利益累計額合計	△2,734	△2,470
新株予約権	6,935	6,935
非支配株主持分	108,465	99,978
純資産合計	3,337,174	3,135,308
負債純資産合計	6,197,079	5,707,533

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,890,876	8,612,875
売上原価	6,747,426	6,481,335
売上総利益	2,143,449	2,131,540
販売費及び一般管理費	1,442,694	1,859,367
営業利益	700,755	272,173
営業外収益		
受取利息	9	8
未払配当金除斥益	375	901
その他	101	163
営業外収益合計	486	1,073
営業外費用		
支払利息	2,691	2,219
持分法による投資損失	116,164	116,164
株式交付費	295	369
投資事業組合運用損	-	2,327
その他	103	58
営業外費用合計	119,255	121,139
経常利益	581,986	152,107
特別利益		
新株予約権戻入益	300	-
特別利益合計	300	-
特別損失		
固定資産除却損	12,556	-
投資有価証券評価損	10,084	-
その他	3,377	-
特別損失合計	26,018	-
税金等調整前四半期純利益	556,268	152,107
法人税、住民税及び事業税	234,693	106,500
法人税等調整額	4,766	5,310
法人税等合計	239,459	111,810
四半期純利益	316,808	40,296
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	337,209	78,323
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,400	△38,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,916	403
その他の包括利益合計	△2,916	403
四半期包括利益	313,891	40,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,338	78,587
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,446	△37,887



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

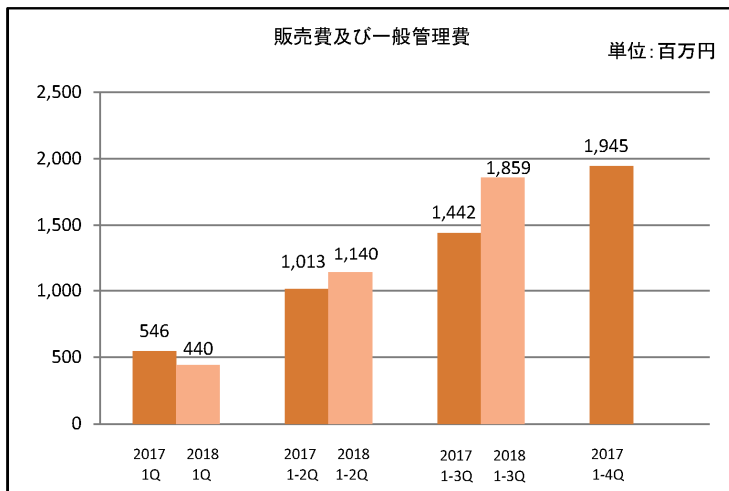
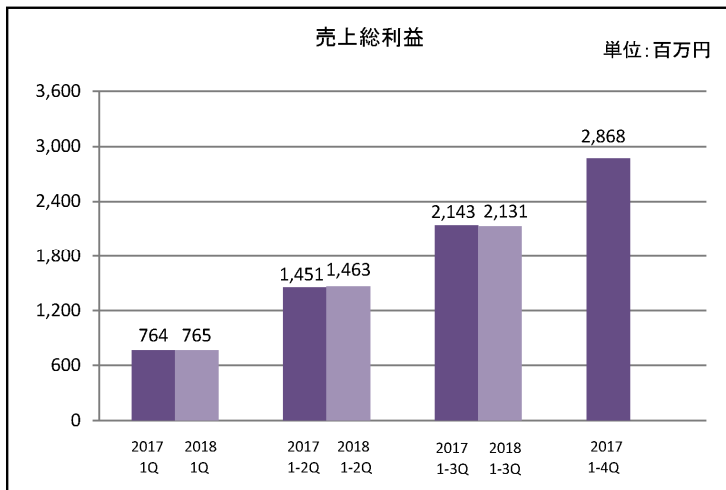
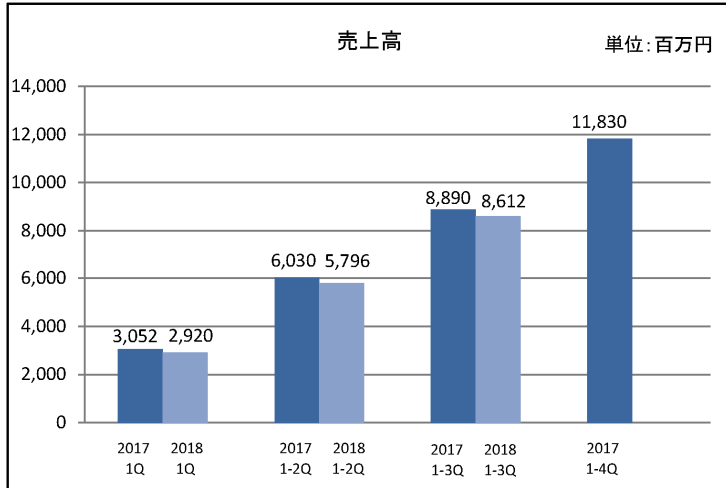
当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

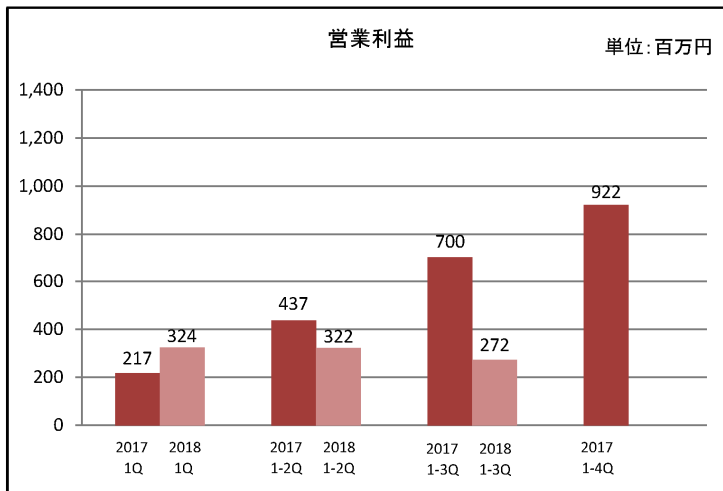
(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考資料

業績比較 (累計)





※上記の営業利益のうち、SIMに関わる事業の営業損益は以下のとおりであります。

単位：(百万円)

	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
2018年	1	△37	△79	—
2017年	△28	△76	△116	△157

(注) 個人向け及び法人向けのSIMに関わるサービスを合算しております。

なお、各年度の第1四半期連結会計期間において、通信事業者との間で通信回線の借受費用に関する過年度・当年度分の遡及精算が行われております。

